

## LM・成長国ブルーチップ社債ファンド (毎月分配型／為替ヘッジなし)

### 運用報告書 (全体版)

第54期	決算日	2017年4月5日
第55期	決算日	2017年5月8日
第56期	決算日	2017年6月5日
第57期	決算日	2017年7月5日
第58期	決算日	2017年8月7日
第59期	決算日	2017年9月5日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年10月5日～2022年9月5日まで	
運用方針	主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：  
レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・成長国ブルーチップ社債ファンド（毎月分配型／為替ヘッジなし）」は、2017年9月5日に第59期の決算を行いましたので、第54期、第55期、第56期、第57期、第58期、第59期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
30期(2015年4月6日)	12,329	80	△0.5	94.1	—	—	372		
31期(2015年5月7日)	12,562	80	2.5	92.2	—	—	394		
32期(2015年6月5日)	13,022	80	4.3	92.9	—	—	405		
33期(2015年7月6日)	12,590	80	△2.7	97.3	—	—	418		
34期(2015年8月5日)	12,586	80	0.6	97.9	—	—	387		
35期(2015年9月7日)	11,575	80	△7.4	96.7	—	—	356		
36期(2015年10月5日)	11,356	80	△1.2	94.3	—	—	341		
37期(2015年11月5日)	11,867	80	5.2	94.1	—	—	358		
38期(2015年12月7日)	11,687	80	△0.8	96.9	—	—	341		
39期(2016年1月5日)	11,085	80	△4.5	98.1	—	—	322		
40期(2016年2月5日)	10,711	80	△2.7	95.5	—	—	312		
41期(2016年3月7日)	10,597	80	△0.3	94.5	—	—	310		
42期(2016年4月5日)	10,466	80	△0.5	93.2	—	—	307		
43期(2016年5月6日)	10,184	80	△1.9	92.0	—	—	300		
44期(2016年6月6日)	10,090	80	△0.1	92.7	—	—	289		
45期(2016年7月5日)	9,839	80	△1.7	97.1	—	—	283		
46期(2016年8月5日)	9,791	80	0.3	95.1	—	—	280		
47期(2016年9月5日)	10,092	80	3.9	95.5	—	—	289		
48期(2016年10月5日)	9,895	80	△1.2	95.8	—	—	247		
49期(2016年11月7日)	9,888	80	0.7	91.9	—	—	248		
50期(2016年12月5日)	10,372	80	5.7	92.8	—	—	248		
51期(2017年1月5日)	10,793	80	4.8	95.0	—	—	249		
52期(2017年2月6日)	10,487	80	△2.1	95.3	—	—	231		
53期(2017年3月6日)	10,635	80	2.2	97.2	△35.9	—	182		
54期(2017年4月5日)	10,305	80	△2.4	96.2	△35.8	—	178		
55期(2017年5月8日)	10,513	80	2.8	94.9	△21.0	—	182		
56期(2017年6月5日)	10,265	80	△1.6	96.9	△34.0	—	179		
57期(2017年7月5日)	10,438	80	2.5	95.9	△33.3	—	181		
58期(2017年8月7日)	10,246	80	△1.1	95.6	△34.2	—	179		
59期(2017年9月5日)	10,146	80	△0.2	95.9	△33.8	—	178		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			円	%		
第54期	(期 首) 2017年3月6日	10,635		—	97.2	△35.9
	3月末	10,525		△1.0	95.2	△35.3
	(期 末) 2017年4月5日	10,385		△2.4	96.2	△35.8
第55期	(期 首) 2017年4月5日	10,305		—	96.2	△35.8
	4月末	10,439		1.3	97.1	△20.9
	(期 末) 2017年5月8日	10,593		2.8	94.9	△21.0
第56期	(期 首) 2017年5月8日	10,513		—	94.9	△21.0
	5月末	10,368		△1.4	96.0	△33.7
	(期 末) 2017年6月5日	10,345		△1.6	96.9	△34.0
第57期	(期 首) 2017年6月5日	10,265		—	96.9	△34.0
	6月末	10,405		1.4	95.3	△33.3
	(期 末) 2017年7月5日	10,518		2.5	95.9	△33.3
第58期	(期 首) 2017年7月5日	10,438		—	95.9	△33.3
	7月末	10,264		△1.7	93.6	△34.0
	(期 末) 2017年8月7日	10,326		△1.1	95.6	△34.2
第59期	(期 首) 2017年8月7日	10,246		—	95.6	△34.2
	8月末	10,276		0.3	95.3	△33.6
	(期 末) 2017年9月5日	10,226		△0.2	95.9	△33.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

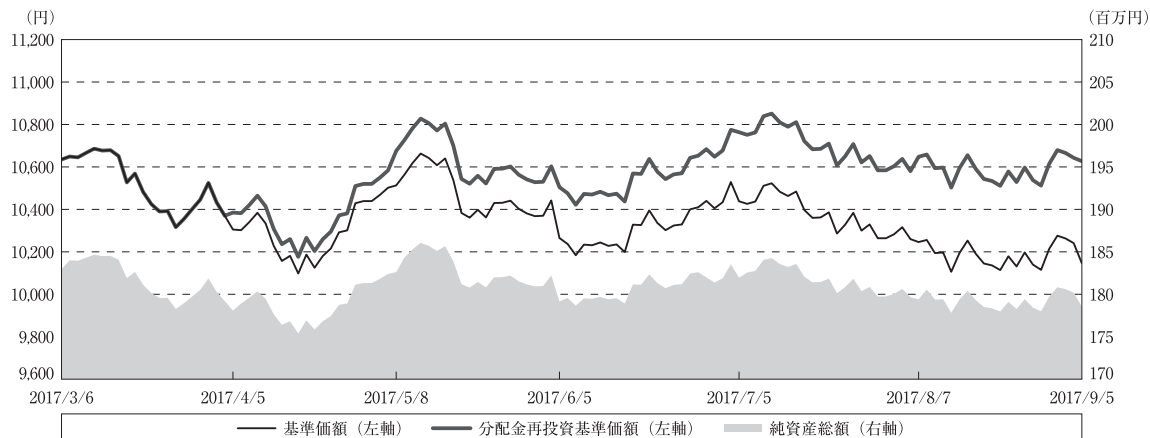
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2017年3月7日～2017年9月5日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

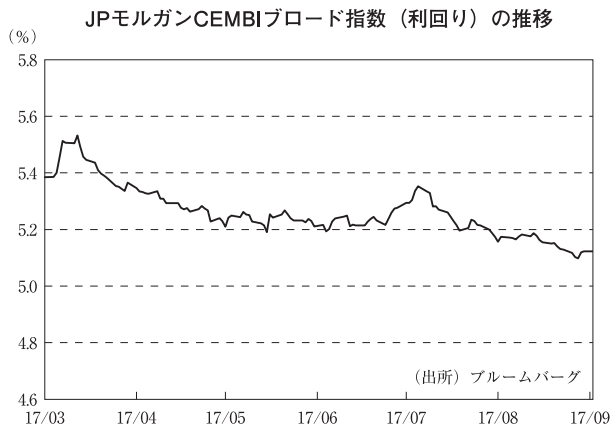
(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年3月6日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末(2017年9月5日)のLM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジなし)(以下、当ファンド)の基準価額は10,146円(分配金控除後)となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス0.1%(分配金再投資ベース)、基準価額は9円(分配金込み)下落しました。公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益についても、新興国社債市場の利回りの低下を受け、プラスとなりました。一方、為替損益については、為替市場で米ドル安・円高となったことから、マイナスとなりました。

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは低下しました。期の前半は、米財務長官が大型減税について言及し、米国の景気回復期待が強まったことや、フランス大統領選挙の第1回投票を波乱なく終え、欧州の政治リスクが後退したことなどがプラスに寄与し、JPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは低下しました。期の半ばは、利回りは総じて横ばいでの推移となりましたが、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和策縮小への思惑が意識されると、利回りに上昇圧力が加わりました。期の後半は、鉄鉱石や原油などの資源価格が回復傾向となったことがプラスに寄与しました。さらに、米ワイオミング州ジャクソンホールでの会合で米連邦準備制度理事会（FRB）議長が金融政策への言及を避け、一段の金融引き締めに対する懸念が後退したことも、利回りの低下要因となりました。



当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、地政学リスクの高まりや、フランス大統領選挙を巡る不透明感の高まりなどを受け、リスク回避姿勢の高まりによる米ドル売り・円買いが優勢となりました。しかし、フランス大統領選挙の第1回投票が波乱なく終わると、米ドル買い・円売り優勢の展開へと転じました。期の半ばは、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、米ドル売り・円買いが一時強まりました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）において追加利上げの決定とともにバランスシートの縮小を年内に開始する方針が示されたことを受け、米ドルは対円で上昇しました。期の後半は、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受け、投資家のリスク回避姿勢が意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。また、FRB議長の講演を受け、一段の金融引き締めに消極的との見方が広がったことも、米ドル売り・円買いを促す要因となりました。



当ファンドは、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。また、当ファンドの実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、工業等などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。地域別では、中南米地域やアジアへ厚めに配分しています。

分配金

(2017年3月7日～2017年9月5日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	80 0.770%	80 0.755%	80 0.773%	80 0.761%	80 0.775%	80 0.782%
当期の収益	30	42	24	37	31	23
当期の収益以外	49	37	55	42	48	56
翌期繰越分配対象額	2,267	2,230	2,175	2,133	2,085	2,029

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

米国の金融政策については、FRBは経済動向を見極めながら、慎重に金融政策の正常化を進めると思われます。

長期的な投資クラスとしての新興国社債は魅力的であると考えており、投資魅力のある銘柄を今後も組み入れていく所存です。ただし、バリュエーション、需給バランス、ビジネスモデルの有効性などを考慮し、銘柄やセクターの選択において極めて慎重な投資スタンスを維持する方針です。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月7日～2017年9月5日)

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 87	% 0.834	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(42)	(0.406)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(42)	(0.406)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.004	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 0 )	(0.004)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	4	0.042	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 2 )	(0.015)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	91	0.880	
作成期間の平均基準価額は、10,379円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2017年3月7日～2017年9月5日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第54期～第59期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド		3,370	5,367	7,031	11,209

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年3月7日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2017年3月7日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月7日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2017年9月5日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第53期末	第59期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド		115,935	112,274	180,189

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2017年9月5日現在)

項 目	第59期末	
	評 価 額	比 率
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	千円 180,189	% 100.0
投資信託財産総額	180,189	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(1,668,842千円)の投資信託財産総額(1,702,850千円)に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
	2017年4月5日現在	2017年5月8日現在	2017年6月5日現在	2017年7月5日現在	2017年8月7日現在	2017年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	179,710,240	184,272,318	180,789,747	183,605,659	181,087,867	180,189,001
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド(評価額)	179,710,240	184,272,318	180,789,747	183,605,659	181,087,867	180,189,001
(B) 負債	1,638,481	1,667,287	1,636,330	1,649,081	1,682,255	1,651,764
未払収益分配金	1,382,444	1,389,531	1,396,185	1,394,587	1,400,808	1,407,713
未払信託報酬	248,640	269,642	233,189	247,098	273,279	236,955
その他未払費用	7,397	8,114	6,956	7,396	8,168	7,096
(C) 純資産総額(A-B)	178,071,759	182,605,031	179,153,417	181,956,578	179,405,612	178,537,237
元本	172,805,511	173,691,471	174,523,189	174,323,482	175,101,001	175,964,203
次期繰越損益金	5,266,248	8,913,560	4,630,228	7,633,096	4,304,611	2,573,034
(D) 受益権総口数	172,805,511口	173,691,471口	174,523,189口	174,323,482口	175,101,001口	175,964,203口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,305円	10,513円	10,265円	10,438円	10,246円	10,146円

<注記事項>

元本の状況

当作成期首元本額

172,018,211円

当作成期中追加設定元本額

5,165,509円

当作成期中一部解約元本額

1,219,517円

## ○損益の状況

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 4,073,955	5,287,487	△ 2,689,442	4,656,935	△ 1,680,239	△ 100,964
売買益	—	5,298,979	—	4,684,414	152	112
売買損	△ 4,073,955	△ 11,492	△ 2,689,442	△ 27,479	△ 1,680,391	△ 101,076
(B) 信託報酬等	△ 256,037	△ 277,756	△ 240,145	△ 254,494	△ 281,447	△ 244,051
(C) 当期損益金(A+B)	△ 4,329,992	5,009,731	△ 2,929,587	4,402,441	△ 1,961,686	△ 345,015
(D) 前期繰越損益金	△21,843,475	△26,706,896	△22,434,214	△25,629,599	△21,886,447	△24,389,461
(E) 追加信託差損益金	32,822,159	32,000,256	31,390,214	30,254,841	29,553,552	28,715,223
(配当等相当額)	( 40,035,966)	( 39,390,911)	( 38,926,635)	( 37,918,817)	( 37,353,601)	( 36,690,816)
(売買損益相当額)	(△ 7,213,807)	(△ 7,390,655)	(△ 7,536,421)	(△ 7,663,976)	(△ 7,800,049)	(△ 7,975,593)
(F) 計(C+D+E)	6,648,692	10,303,091	6,026,413	9,027,683	5,705,419	3,980,747
(G) 収益分配金	△ 1,382,444	△ 1,389,531	△ 1,396,185	△ 1,394,587	△ 1,400,808	△ 1,407,713
次期繰越損益金(F+G)	5,266,248	8,913,560	4,630,228	7,633,096	4,304,611	2,573,034
追加信託差損益金	31,973,144	31,347,774	30,423,246	29,520,735	28,707,734	27,724,902
(配当等相当額)	( 39,189,983)	( 38,741,127)	( 37,962,274)	( 37,187,733)	( 36,510,824)	( 35,703,489)
(売買損益相当額)	(△ 7,216,839)	(△ 7,393,353)	(△ 7,539,028)	(△ 7,667,000)	(△ 7,803,090)	(△ 7,978,587)
繰越損益金	△26,706,896	△22,434,214	△25,793,018	△21,887,639	△24,403,123	△25,151,868

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	533,429	737,049	429,217	660,481	554,990	417,392
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	40,038,998	39,393,609	38,929,242	37,921,841	37,356,642	36,693,810
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	40,572,427	40,130,658	39,358,459	38,582,322	37,911,632	37,111,202
(1万円当たり収益分配対象額)	( 2,347)	( 2,310)	( 2,255)	( 2,213)	( 2,165)	( 2,109)
収 益 分 配 金	1,382,444	1,389,531	1,396,185	1,394,587	1,400,808	1,407,713
(1万円当たり収益分配金)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)

## ○分配金のお知らせ

	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1万口当たり分配金(税込み)	80円	80円	80円	80円	80円	80円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

### ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

### ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第5期 決算日 2017年9月5日

(計算期間：2016年9月6日～2017年9月5日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」の第5期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主として新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を中心に投資を行います。 2. 投資対象とする債券の格付けに制限は設けません。 3. 外貨建資産の為替ヘッジはしません。
主 要 運 用 対 象	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰落	率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2012年10月5日	10,000	—	—	—	—	1,907
1期(2013年9月5日)	12,096		21.0	97.2	—	2,342
2期(2014年9月5日)	14,562		20.4	96.2	—	1,555
3期(2015年9月7日)	14,737		1.2	95.8	—	966
4期(2016年9月5日)	14,304		△ 2.9	94.7	—	661
5期(2017年9月5日)	16,049		12.2	95.1	△33.4	1,702

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	騰落率
		騰落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2016年9月5日	14,304		—	94.7	—	—
9月末	13,975		△ 2.3	94.9	—	—
10月末	14,442		1.0	94.4	—	—
11月末	14,977		4.7	93.2	—	—
12月末	15,745		10.1	94.2	—	—
2017年1月末	15,670		9.5	94.5	—	—
2月末	15,743		10.1	96.6		△35.9
3月末	15,777		10.3	95.1		△35.3
4月末	15,791		10.4	97.0		△20.9
5月末	15,827		10.6	95.9		△33.6
6月末	16,030		12.1	95.2		△33.3
7月末	15,957		11.6	93.5		△34.0
8月末	16,124		12.7	95.2		△33.6
(期末)						
2017年9月5日	16,049		12.2	95.1		△33.4

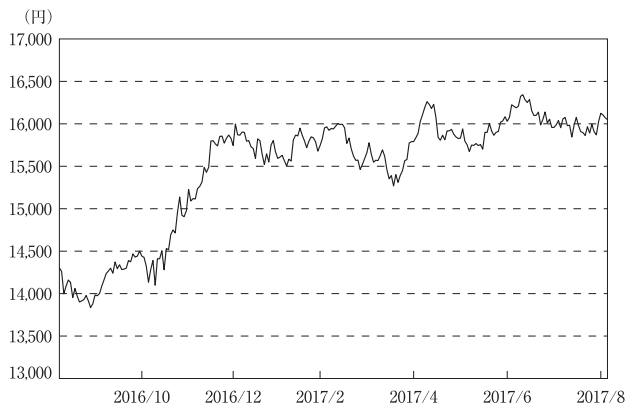
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額の推移

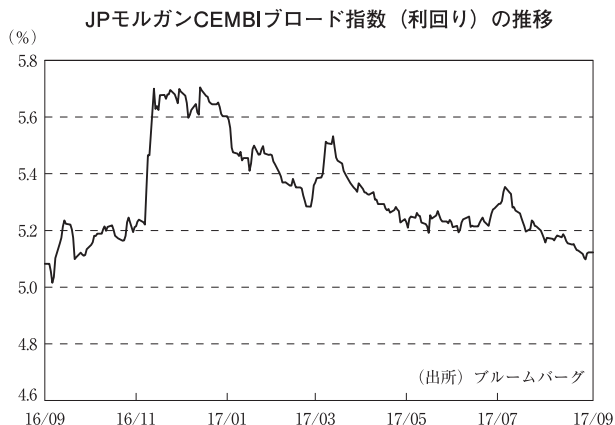
(2016年9月6日～2017年9月5日)



### ○基準価額の主な変動要因

期末（2017年9月5日）のLM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は16,049円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス12.2%、基準価額は1,745円上昇しました。公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益もプラスとなりました。さらに、為替損益についても、為替市場で米ドル高・円安となったことから、プラスとなりました。

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは、前期末比ほぼ変わらずとなりました。期の前半は、インフラ投資の拡大や大規模減税を主張するトランプ氏が大統領選挙に勝利したことを受けて米国長期金利が上昇し、新興国市場に流入していた投資資金が米国に還流するとの見方が浮上したことから、JPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは大きく上昇しました。期の半ばは、米連邦公開市場委員会（FOMC）での利上げを織り込む動きが進み、利回りが一時上昇しましたが、混迷の様相を呈していたフランス大統領選挙の第1回投票を波乱なく終えると、欧州政治リスクの後退がプラスに寄与し、利回りは低下傾向となりました。期の後半は、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和策縮小への思惑が意識され、利回りに一時上昇圧力が加わりました。しかし、当期末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を受け、一段の金融引き締めに対する懸念が後退したことなどから、利回りは低下しました。



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。期の前半は、米大統領選挙の結果を受けて、トランプ米次期政権による政策期待および米国景気の拡大期待が広がったことから、米ドルは対円で大きく上昇しました。さらに、米国国債利回りが急上昇し、日米の金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが加速しました。期の半ばは、米大統領選挙後の急速な米ドル高・円安の反動から、持ち高調整目的の米ドル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は混迷の様相を呈していたフランス大統領選挙の第1回投票が波乱なく終わり、リスク回避姿勢が後退したことから、米ドルは対円で底堅く推移しました。期の後半は、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。当期末にかけては、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受け、リスク回避姿勢が意識される中、米ドル売り・円買いが優勢となりました。FRB議長の講演を受け、一段の金融引き締めに消極的との見方が広がったことも、米ドルの上値を抑える要因となりました。





## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。投資対象とする債券の格付けに制限は設けません。ただし、ポートフォリオ全体の平均格付けはBBB-／Baa3格以上を維持することを目指します。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、工業などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。地域別では、中南米地域やアジアへ厚めに配分しています。

## ○今後の運用方針

米国の金融政策については、FRBは経済動向を見極めながら、慎重に金融政策の正常化を進めると考えられます。

長期的な投資クラスとしての新興国社債は魅力的であると考えており、投資魅力のある銘柄を今後も組み入れていく所存です。ただし、バリュエーション、需給バランス、ビジネスモデルの有効性などを考慮し、銘柄やセクターの選択において極めて慎重な投資スタンスを維持する方針です。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年9月6日～2017年9月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先物・オプション)	円 1 (0) (1)	% 0.007 (0.000) (0.007)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	6 (6)	0.039 (0.039)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	7	0.046	
期中の平均基準価額は、15,504円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年9月6日～2017年9月5日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 — (11)	千米ドル — (34)	百株 11	千米ドル 42

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分です。

## 公社債

		買付額		売付額	
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 1,207	千米ドル 1,670	
		地方債証券	200	202	
		特殊債証券	719	414	
		社債券（投資法人債券を含む）	14,528	5,774 ( 205)	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 1,929	百万円 1,361

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○株式売買比率

(2016年9月6日～2017年9月5日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,754千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年9月6日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年9月5日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	14,001	14,759	1,618,564	95.1	27.2	63.9	29.2	2.0
合 計	14,001	14,759	1,618,564	95.1	27.2	63.9	29.2	2.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	特殊債券 (除く金融債)	BANCO LATINOAMERICANO SA	3.25	250	256	28,085	2020/5/7
		FONDO MIVIVIENDA SA	3.5	250	256	28,082	2023/1/31
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANCO MERCANTIL DEL FRN	7.625	200	215	23,626	9998/12/31
		BANK OF EAST ASIA LT FRN	4.25	200	204	22,418	2024/11/20
		BBVA BANCOMER SA TEXAS	6.75	200	227	24,992	2022/9/30
		BBVA COLOMBIA SA	4.875	250	264	28,989	2025/4/21
		BORETS FINANCE DAC	6.5	200	212	23,356	2022/4/7
		BRASKEM FINANCE LTD	7.125	200	224	24,628	2041/7/22
		CERRO DEL AGUILA SA	4.125	200	199	21,871	2027/8/16
		CHINA OVERSEAS FIN KY V	3.95	250	262	28,749	2022/11/15
		CIMB BANK BHD	3.263	200	204	22,448	2022/3/15
		CNOOC FINANCE 2012 LTD	3.875	200	210	23,076	2022/5/2
		COUNTRY GARDEN HLDG CO	7.5	250	264	28,992	2020/3/9
		DAE FUNDING LLC	5.0	40	40	4,473	2024/8/1
		ECOPETROL SA	5.875	100	111	12,178	2023/9/18
		ECOPETROL SA	5.875	120	116	12,829	2045/5/28
		EMPRESA NACIONAL DE ELEC	4.25	30	31	3,453	2024/4/15
		EQUATE PETROCHEMICAL BV	4.25	250	258	28,336	2026/11/3
		EXPORT-IMPORT BK INDIA	3.875	200	205	22,574	2019/10/2
		GOHL CAPITAL LTD	4.25	200	208	22,857	2027/1/24
GOODMAN HK FINANCE	4.375	250	264	28,980	2024/6/19		
GRUPO BIMBO SAB DE CV	4.5	250	269	29,515	2022/1/25		
GS CALTEX CORP	3.0	200	200	21,999	2022/6/12		
HUTCH WHAMPOA INT 14 LTD	3.625	200	209	22,951	2024/10/31		
HYUNDAI CAPITAL SERVICES	3.0	200	199	21,917	2022/3/6		
INRETAIL SHOPPING MALLS	6.5	80	84	9,221	2021/7/9		

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券 (含む投資法人債券)					
	INVERSIONES CMPC SA	4.5	260	272	29,933	2022/4/25
	KAZMUNAYGAS NATIONAL	4.4	200	204	22,457	2023/4/30
	KEB HANA BANK	4.25	250	260	28,586	2024/10/14
	LUKOIL INTL FINANCE BV	6.656	100	112	12,375	2022/6/7
	LUKOIL INTL FINANCE BV	4.75	280	291	31,989	2026/11/2
	MARFRIG HOLDING EUROPE B	6.875	200	206	22,607	2019/6/24
	MDC-GMTN B. V.	3.0	200	198	21,789	2024/4/19
	MEXICHEM SAB DE CV	5.875	200	207	22,707	2044/9/17
	MINEJESA CAPITAL BV	5.625	200	208	22,851	2037/8/10
	MYRIAD INTL HOLDINGS BV	5.5	250	274	30,054	2025/7/21
	NATIONAL BK OF ABU DHABI	2.25	200	199	21,873	2020/2/11
	NBK SPC LTD	2.75	200	199	21,881	2022/5/30
	OFFICE CHERIFIEN DES PHO	5.625	200	216	23,714	2024/4/25
	OIL INDIA INTERNATIONAL	4.0	200	203	22,293	2027/4/21
	OJSC RUSS AGRIC BK (RSHB)	7.75	100	103	11,377	2018/5/29
	OVERSEA-CHINESE BANKING	4.25	200	210	23,105	2024/6/19
	PAMPA ENERGIA SA	7.5	250	268	29,424	2027/1/24
	PELABUHAN INDONESIA III	4.875	200	214	23,536	2024/10/1
	PERTAMINA PERSERO PT	4.3	200	209	22,997	2023/5/20
	PERUSAHAAN GAS NEGARA	5.125	200	217	23,812	2024/5/16
	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	4.125	200	201	22,139	2027/5/15
	PETROBRAS GLOBAL FINANCE	7.375	720	797	87,453	2027/1/17
	PETROBRAS INTL FIN CO	4.375	205	201	22,056	2023/5/20
	PETROLEOS MEXICANOS	5.375	20	21	2,351	2022/3/13
	PETROLEOS MEXICANOS	6.875	16	18	2,020	2026/8/4
	PHOSAGRO BOND FUNDING DA	3.95	200	202	22,251	2021/11/3
	RELIANCE HOLDINGS USA	5.4	250	275	30,210	2022/2/14
	SEVERSTAL (STEEL CAP)	5.9	280	307	33,732	2022/10/17
	SHINHAN BANK	3.875	250	254	27,890	2026/3/24
	SOUTHERN COPPER CORP	3.875	10	10	1,137	2025/4/23
	SOUTHERN COPPER CORP	5.25	190	200	21,989	2042/11/8
	SURA ASSET MANAGEMENT	4.375	150	152	16,668	2027/4/11
	SUZANO AUSTRIA GMBH	5.75	300	324	35,618	2026/7/14
	SWIRE PROPERT MTN FIN	2.75	250	252	27,654	2020/3/7
	TC ZIRAAT BANKASI AS	5.125	200	204	22,426	2022/5/3
	TNK-BP FINANCE SA	7.25	280	306	33,575	2020/2/2
	TURK TELEKOMUNIKASYON AS	4.875	200	205	22,499	2024/6/19
	ULTRAPAR INTERNATIONL SA	5.25	300	308	33,829	2026/10/6
	VALE OVERSEAS LIMITED	5.875	40	44	4,856	2021/6/10
	VALE OVERSEAS LIMITED	6.875	260	297	32,676	2036/11/21
	VIMPELCOM HLDGS	5.95	290	313	34,391	2023/2/13
	YPF SOCIEDAD ANONIMA	8.5	290	328	36,071	2021/3/23
	YPF SOCIEDAD ANONIMA	8.75	40	46	5,083	2024/4/4
合	計				1,618,564	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期	
		買建額	売建額
外国	債券先物取引	米回国債(10年)2017.12限月	
		百万円	百万円
		—	569

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2017年9月5日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,618,564	95.1
コール・ローン等、その他	84,286	4.9
投資信託財産総額	1,702,850	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(1,668,842千円)の投資信託財産総額(1,702,850千円)に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは1米ドル=109.66円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2016年9月6日~2017年9月5日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年9月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,702,850,576
コール・ローン等	55,267,977
公社債(評価額)	1,618,564,945
未収入金	1,405,020
未収利息	21,589,007
前払費用	142,787
差入委託証拠金	5,880,840
(B) 負債	85
未払利息	85
(C) 純資産総額(A-B)	1,702,850,491
元本	1,061,054,463
次期繰越損益金	641,796,028
(D) 受益権総口数	1,061,054,463口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,049円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

462,672,306円

期中追加設定元本額

902,139,925円

期中一部解約元本額

303,757,768円

期末における元本の内訳

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジあり)

943,523,922円

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジなし)

112,274,286円

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

1,430,952円

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド(毎月分配型/為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

3,825,303円

○損益の状況 (2016年9月6日～2017年9月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	60,213,195
受取利息	59,527,640
その他収益金	703,625
支払利息	△ 18,070
(B) 有価証券売買損益	52,618,334
売買益	70,349,270
売買損	△ 17,730,936
(C) 先物取引等取引損益	△ 15,196,242
取引益	1,464,372
取引損	△ 16,660,614
(D) 保管費用等	△ 481,028
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	97,154,259
(F) 前期繰越損益金	199,136,622
(G) 追加信託差損益金	512,117,624
(H) 解約差損益金	△166,612,477
(I) 計(E+F+G+H)	641,796,028
次期繰越損益金(I)	641,796,028

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。